

● 「元禄赤穂事件」 史実 NHK 放送の請願について

Q.

当方標記の件名についての放映を強く望んでいる、農民です。

昨今 NHK の日曜日「大河ドラマ」について、「元禄赤穂事件」を疎外していると申せば誇張なるも、それ以外の時代の「大河ドラマ」のみ放映している事が残念に思いますし、視聴者が面白おかしく放映を楽しめば、それを目的としていると思料します。

そこで、中山安兵衛時代の実際起こった史実を、当該事件に係る自治体が連携して署名活動し、放映をするのを希望するものです。

私が申すまでもなく、「忠臣蔵」でない「元禄赤穂事件」「堀部安兵衛」を執筆した本は、まだ解明されていない史実も多くあることは、否定できませんがある程度読破しておりますので、可能と考えますので、勘案くださるようお願い致します。

※私は当時の史実に感動をしており、赤穂市・泉岳寺は既に訪れており、赤穂市には毎年「ふるさと納税」はしております。

(令和 8 年 3 月受付)

A.

赤穂事件につきましては、寛延元年（1748 年）に人形浄瑠璃・歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」が完成して以降、多くの史実を参考に制作された「忠臣蔵」という創作作品が多くの方に認知されてまいりました。

それとは別に、史実を中心とした元禄赤穂事件を研究研鑽し、かつ赤穂義士の行実を顕彰する「一般社団法人 中央義士会」が有る事も御存じかと思えます。

御指摘のように、正しい史実を広く世間に周知することは大切であると十分承知しております。

その一方、脚色された物語の楽しさが、「忠臣蔵」を通じて赤穂事件に関心を持つきっかけにつながっていることも事実であり、市が顕彰する「中山安兵衛武庸・堀部安兵衛」の名が世間に広く知れ渡ったきっかけは、この「忠臣蔵」によるものと考えております。

全国では、「忠臣蔵」ゆかりの自治体が連携し、「忠臣蔵」に関わる取組や情報交換から、地域の活性化や観光振興を進め、地域の発展向上につなげており、当市においても四十七士討ち入りの日である 12 月 14 日には、赤穂浪士の堀部安兵衛を偲ぶ義士祭が行われ、市内少年少女の剣士が衣装を纏い市街地をパレードしているほか、堀部安兵衛の功績を国内外に広く伝えるため、東京都港区の泉岳寺において堀部安兵衛を紹介する多言語カードを配布するなど、PR 活動に取り組んでいます。

史実は史実として今後も受け継がれていくことは重要ではありますが、忠臣蔵は江戸時代から続く演目であり、時代を超えて愛されてきた作品であることから、親しみのある忠臣蔵を通じて、堀部安兵衛の顕彰に取り組んでまいりたいと思っておりますので、何卒、御理解いただきますようお願いいたします。

(令和 8 年 4 月 6 日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。